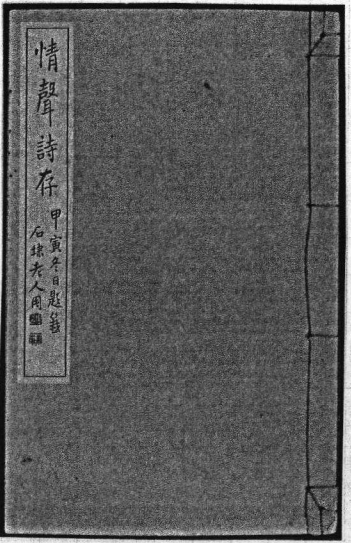


結城華堂 あきつ 漢詩人。明治元年十一月十日馬場國生に、大正十二
 年十月六日歿（一八六一—一九二四）。講塚、宇込海撰。筆名華堂海峽、華堂處
 士。ニテ竹隱、久保田精窓、藤澤南岳等と學ぶ。明治二十二年板垣退
 助の自由黨に加はり民権を唱へる。二十五年臺灣總督府に入り「臺南縣
 誌」編纂に従事。二十五年新聞「日本」入社、のち種々大廳、陸軍經理
 學校囑託。大正二年若溪吟社を、また月池吟社を興し、雜誌「詩林」
 を創刊した。妻皆子（本名皆、昭和二十九年歿）と青鸞と號し詩作。
 編書「川中爲懷古集」（本名、明治四十一年十一月十二日長野・杉山
 光恭刊）、「和漢名詩鈔」（明治四十二年十月九日文會堂書店）、「情
 聲詩存」（井上經重編輯、大正四年二月二十八日自刊）等。



情聲詩存 甲寅年自題名書
 石井共人編輯